



湘南小学校の今後のあり方について - 課題解決の検討 -

令和6年12月18日(水)に、第9回の検討協議会を開催しました。
第9回では「湘南小学校の今後のあり方」をテーマに、「教育環境」・
「通学時の安全確保」を子どもの視点に立ち、良い点と不安な点・課題と、
課題を解決するための方法についてグループワークを行いました。

令和7年2月12日(水)に、第10回の検討協議会を開催し、第9回で出
た意見等をもとに、課題に対する解決方法について意見交換を行いました。

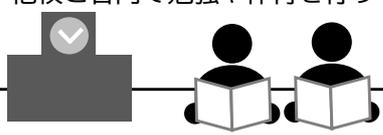


第9回 グループワーク



地域の皆さまからのアンケート結果や、これまでの検討協議会
からの意見等をもとに、グループワークを実施しました

教育環境

	良い点	不安な点・課題	解決方法
存続	<ul style="list-style-type: none"> 先生と関わる時間が長くとれる 人前で話す機会が多いので大人の前でも話すことができる 児童に合わせた教育ができる 少ないからこそその仲の良さがある 地域愛が強い 	<ul style="list-style-type: none"> 中学に上がった時の人数が増えることへの不安 広い友人関係や多様な人間関係に触れる機会が少ない アイデアを出すことにかたよりが出てくる 集団生活でないと学べないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 他校との交流を増やす → 現状、中学が違う小学校との交流が多いので、同じ中学につながる小学校との交流を増やしたらよい 他校と合同で勉強や体育を行う 
再編	<ul style="list-style-type: none"> クラス替えができる 大人数で行える授業(体育や音楽)ができる クラス数が増えることにより、色々な体験ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 1クラスの人数が多くなると人間関係が複雑化する 発言する機会が少なくなる 人数の多さに不安を感じる 先生や親の目が行き届くか不安 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場を増やす(再編してすぐに馴染めるように) 不安を取り除くため、再編は段階が必要ではないか

通学時の安全確保

	良い点	不安な点・課題	解決方法
存続	<ul style="list-style-type: none"> 通いなれた通学路で、危険箇所も把握している 見守り活動をしっかりしてもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量が多く、トラックも多く通っており危険を感じる 道幅が狭く、信号もないので、スピードを出す車が多く怖い 夏の暑い中での登下校が危険 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に付き添い等のご協力をいただく スクールバスを利用できるようにする(不安な点を解消するため) 
再編	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスがあれば、安心して通える 	<ul style="list-style-type: none"> 通学に時間がかかる 見守り活動ができるのか 	<ul style="list-style-type: none"> 無料でスクールバスを利用できるようにする

課題解決の手法



相模原市立小中学校の望ましい学校規模のあり方基本方針(平成29年3月策定)に基づく取組により

望ましい学校規模の実現に向けた方策を検討

- ▶ 手法① 学校区域の変更を伴う手法
- ▶ 手法② 学校区域の変更を伴わない手法

手法① 通学区域の変更を伴う手法

手法	グループワーク等からの意見	検討事項	検討事項に対する意見(良い点・課題など)
学校の統合	川尻小との再編	①通学距離について	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスは必須(無料で) ・学年によって下校時間が異なるので何往復かしてもらえるようにしてほしい ・スクールバスだけでなく、タクシーなどでも対応できると思う
		②再編を段階的に実施することについて	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に実施すると年々児童が減っていくことになる ・もし再編になった場合は一度にしたほうがよい

手法② 通学区域の変更を伴わない手法

手法	グループワーク等からの意見	検討事項	検討事項に対する意見(良い点・課題など)
近隣の学校と合同授業の実施	他校との交流を増やす	③他校との交流を増やすことについて	<ul style="list-style-type: none"> ・他校との交流を増やすことで友達も増えて良いと思うが、他校への移動時間を確保するため学習時間等が削減されるのは課題だと思う ・交流を行ってもそれぞれの学校の子たちで固まってしまうので、子どもたちが打ち解けるまでには回数を重ねないと難しい ・学校同士でカリキュラム調整し、授業はICTを活用して画面越しでも行うことは可能であると思う ・行事や体育などの団体で行う授業を中心に交流できないか
特色あるカリラムの導入	小規模特認校の導入	④小規模特認校の導入について	<ul style="list-style-type: none"> ・人数を増やすためにという考えで小規模特認校の話が出ていたが、保護者の負担と責任で通学させるとなると、湘南小の交通状況では難しいと考える ・様々な事情があって通えなくなった子が特認校制度を使って湘南小に通うことになった場合、事情のある子に先生の目が向く可能性が高いと思う ・今通っている子どもたちのことを考えると得策ではないと考える

【補足】 安全な移動手段の確保や移動時間による学習時間確保等への影響が課題となる

【補足】 少人数の良さを活かしたきめ細やかな指導や地域特性を活かした特色のある教育が行われている場合が多く、市内全域から就学を認めることが可能となるが、保護者の負担と責任で通学することが必須となる

教育委員会の考え方

「相模原市立小中学校の望ましい学校規模のあり方に関する基本方針」(平成29年3月策定)に基づき、児童生徒にとっての望ましい学習環境の整備を目的とし、望ましい学校規模の実現に向け未来を担う児童生徒にとって最も適した方策を検討します。

学習指導要領で目指すこと



■次回(第11回)の予定 ※どなたでも傍聴可能です
【日時・場所】令和7年4月23日(水)午後7時00分～
城山総合事務所 本館2階 B会議室

■事務局(お問い合わせ先)
相模原市教育委員会 教育局 学務課 電話:042-769-8282(直通)